

合格体験記（一般入学試験）

生活科学部 食物栄養科学科 食物科学 専攻

出身高校名 城南菱谷高校

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

たくさんの大学をオープンキャンパスで見に行ったが、同志社女子大学の学生が
一番輝いて見えて、このような雰囲気の中で学生生活を過ごしたいと思ったからです。

(2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

〔1学期〕

行きたい大学が決まらず、部活も忙しかつたため出された宿題を
こなすことしかできていませんでした。

〔夏休み〕

それまで部活ばかりに力を入れていたのが勉強する習慣を作るために
精一杯でした。朝の7時から学校の自習室で勉強を始め
最終下校まで勉強をし、そのまま塾へ直行して9時40分まで勉強して
家に帰るという生活を毎日続けていました。
夏休みは、国語、数学、英語の3教科に力を入れて勉強しました。

〔2学期～入試直前〕

英語は1月で英語の勉強から離れてしまうと、英語の力が衰えてしま
うと、学校の英語の先生に言われたので1日1個長文を読み
ようにしていました。
11月くらいから同志社女子大学の赤本を何年分も解きました。
1度解いた年度の問題も何度も解きました。
私立大学の受験問題は、大学によって傾向や癖があるので、それに
慣れるため、過去問をたくさん解くことがとても大切だと思います。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は家で勉強しても集中ができず、仕方なく高校後輩の時から分かっていて
しっかりと割り切って、家では全く勉強しませんでした。夜に勉強したい分
朝は早起きをしてHRが始まるまで自習室で勉強していました。
夜遅くまで勉強するよりも、朝早くに起きて勉強する方が健康的にも
良いし、頭がスッキリしていて気持ちよく勉強できるのでオススメです。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

しんどいことが多ければ、夢や目標を持っていれば大丈夫です。
勉強は積み重ねです。コツコツ頑張れば、結果がでるよう
頑張ってください。応援しています。